

学校だより



かけはし

見附市立新潟小学校 第4号(R7.7.18)

【教育目標】ともに遊び ともに学び ふるさとにいがたを愛する子
オンリーワン ~自分大好き 学校大好き 地域大好き~



夏休みは、長くて短い！ ~ジャネーの法則から~

校長

4月7日の始業式（1年生は4/8）からスタートした1学期も、来週の2日間の授業日を残すのみとなりました。大きな事故やけがなく、日々の様々な学習や行事を通して子どもたち一人一人が成長を遂げた4か月でした。保護者の皆様と地域の皆様のご支援に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

さあ、33日間の夏休みが始まります。1学期の授業日が74日間だったことを考えると夏休みは長いですね。私は、小学生の頃、何もすることのない暇な日は、夏休みの1日がとても長く感じられることがありました。大人になって知ったことですが、子どもと大人の体感時間が違うことが要因のようです。その考え方は、ジャネーの法則と呼ばれ、「人間の体感時間は、それまで生きてきた年齢に反比例する」のだそうです。例えば、50歳の大人にとっての1年間は、それまで生きてきた50年のうちの1年間で1/50です。ところが10歳の子どもにとっての1年間は、生きてきた10年のうちの1年間なので1/10です。大人にも子どもにも同じ1年、1日、1時間であっても10歳の子どもの体感時間は、50歳の大人の5倍の長さを感じるということです。人生100年として考えると年齢の折り返しは50歳、年齢を重ねるごとに、1日、1年の時間の感覚は早くなっていると感じます。（驚くことに、実際は、20歳を過ぎる頃からそのような体感時間になっていくようです。）

夏休みを人生で例えると、夏休み33日間の折り返しは8月10日頃です。前半は、長いと思ってのんびり過ごしていた夏休みが、残り少なくなってきたことに気づき急に焦り出す頃です。そして、最後の1週間は飛ぶように過ぎ去った…、などと反省することも少なくないのではないのでしょうか。これも、ジャネーの法則による体感時間の違いなのかもしれません。

そう思うと、その夏休みをどう過ごすかは、かなり重要です。体感時間の比較的長く感じられる前半は、やるべきことや課題をこつこつやり、体感時間が短くはやく感じられる後半は、自分のやりたいこと、夏休みでしか経験できないことを存分に楽しむ、というような過ごし方は、実は理にかなっているのかもしれません。

「夏休みは、長くて短い！」このことを頭の片隅において、充実した33日間を過ごしてほしいと思います。



